



■ダム再生事業の沿革

昭和40(1965)年度	早明浦ダム建設事業に着手
昭和50(1975)年度	早明浦ダム管理開始
平成17(2005)年度	吉野川水系河川整備基本方針 策定
平成21(2009)年度	吉野川水系河川整備計画 策定
	吉野川水系河川整備計画 変更
平成29(2017)年度	吉野川水系における水資源開発基本計画(一部変更)
	早明浦ダム再生事業に関する事業実施計画認可
平成30(2018)年度	早明浦ダム再生事業着手

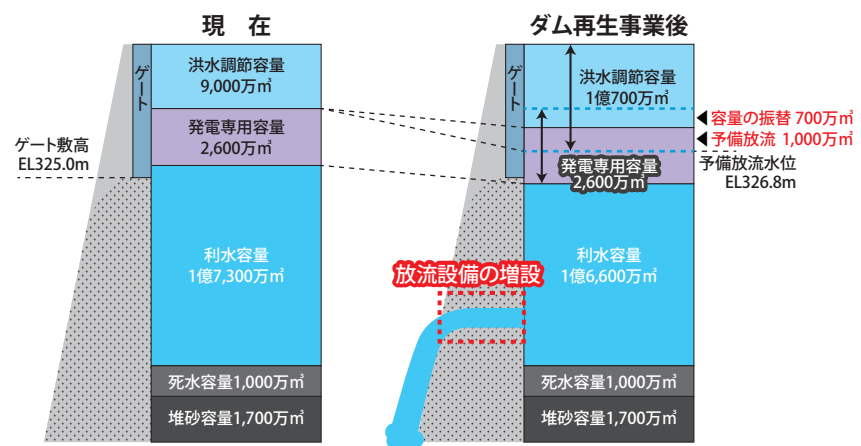
早明浦ダム再生事業完成イメージ

■再生事業記念カード
 機構が実施する初の大規模なダム再生事業の工事本格化に当たり、再生事業記念カードを「道の駅土佐さめうら」にて配っております。



■早明浦ダム再生事業の内容

- 容量の振替** ダムからの補給方法を変更して、利水容量のうち700万m³を洪水調節容量に振り替えます。
- 予備放流の導入** 大雨が降りそうとき、あらかじめ水を放流して水位を下げ、洪水に備えます。
- 放流設備の増設** 容量の振替と予備放流を行うことで、ダムの水位が下がり、今のゲートでは適切な量の放流ができなくなるため、放流設備を増設します。



ご覧下さい。

早明浦ダム再生事業による洪水調節の効果について動画で分かりやすく紹介しております。



さ め う ら
早明浦ダム再生事業起工式を開催

8月5日、「早明浦ダム再生事業起工式」を土佐町農村環境改善センター（高知県土佐郡土佐町）において挙行了しました。起工式には、国会議員、国土交通省、県知事、県議会議員、議員、共同事業者、関係機関、施工者、地元小中学生等及び水資源機構の関係者を合わせ約百八十名が参加して行われました。

金尾理事長からは主催者挨拶として、関係者の皆様への感謝の意と、工事中、ダム貯水池運用に支障がないよう進め、騒音対策や安全対策など周辺環境への影響を極力軽減すべく、丁寧な施工を心がけ、地域の活性化にも寄与するよう、地元や関係者と協働して取り組んでいくことを述べました。

主催者挨拶に引き続き、来賓より祝辞をいただきました。高知県の濱田知事からは、「本事業が吉野川流域の皆様の安全と安心の向上、地域の生活基盤に多大なる効果を発揮され、良好な生活環境の確保に大いに貢献していくことを確信している。四国の発展の礎となった早明浦ダムの歴史を、そこに関わった地域や人々への感謝の意も含めて、将来にわたってしっかりと語り継いでいきたい。」と挨拶いただきました。香川県の池田知事からは、「香川県にとっては、生活、産業の全てにおいて、早明浦ダムの水なしで

は成り立たない。水源地域の方々へのご恩を、これからも後世の時代に引き継いで忘れないようにしたい。来年、香川用水が通水し50周年の大きな節目になる。香川用水の歴史と重要性、そして、水源地域への感謝の気持ちを永く後世に伝えるために、様々な行事を行いたい。」とご挨拶いただきました。そして、事業概要を説明後、工事施工者代表からのご挨拶をいただき、歛入れ式とくす玉開披を執り行いました。

今後も水源地域の皆様への感謝の気持ちを常に持ち、関係する皆様と緊密に連携し、しっかりと安全対策、環境対策を執りつつ的確な進捗管理を行うことにより、令和10年度内の事業完了を目指してまいります。

株式会社大林組 運輸代表取締役兼CEO
 高知県 濱田知事